

開放病床運営委員会の現状と未来

江 角 小百合

キーワード：かかりつけ医；医療機関相互の地域完結型診療；在宅医療推進

(雲南市立病院医学雑誌 2019; 16(1): 181-182)

委員会の概要

この委員会は、開業医と協働で患者の診療及び指導を行い病診連携を緊密なものとするため、雲南医師会との合意に基づいて開放病床を設置し、地域医療の充実と効率化を図ることを目的として2010年12月に設置された。委員は統轄副院長、診療局長、看護部長、看護部次長、外来師長、病棟師長、事務部次長、総務課長、総務係長、情報管理課長、情報管理係長、MMSS、健康管理センター補佐、健康管理センター課長、医療ソーシャルワーカー（medical social worker, MSW）で構成されている。

開放病床の経緯

開放病床では、かかりつけ医から紹介を受けた患者にとっては、かかりつけ医と当院の医師が協力して入院から退院までの一貫した診療を行い、継続的な安心できる医療を受けることができる。また、地域の医療機関が連携を深めることで、医療機関単独の自己完結型医療から医療機関相互の地域完結型診療とすることが可能となる。

委員会で協議を重ね5床の開放病床を確保し受け入れ体制を整えた。雲南医師会長と覚書の締結、医師会理事会での説明等を経て、2011年4月には雲南圏域の20医療機関、21名が登録医申請を行った。4月～5月で

4名が利用され、共同指導を実施された。2011年6月から開放型病院として運用開始となった（図1、2）。

利用した患者からは「かかりつけの先生が病院へ来てくださって大変うれしかった。安心できた。」と好評であった。

今後の展望

開放病床は、在宅医療推進へのきっかけとして始められた。開放病床から在宅療養後方支援の登録へ移行し、現在は訪問診療を開始するなどに展開してきた。診療所医師との顔の見える関係も構築されているため、今後は診療所医師の意向に沿って運営できるよう努めていきたいと考えている。

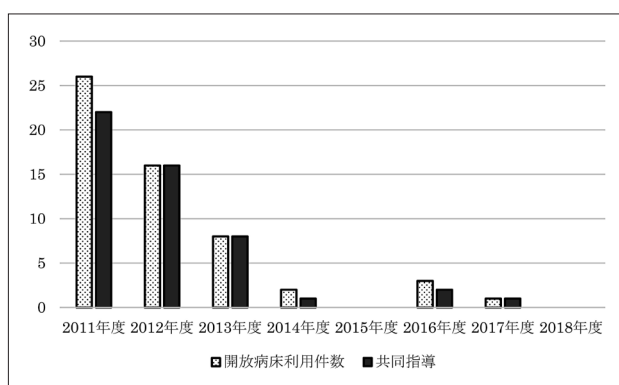


図1 開放病床の利用件数と共同指導実施件数



図2 開放病床

Present status and future perspective of the committee for management of open bed system in Unnan City Hospital.

Sayuri Esumi

Committee for management of open bed system, Regional cooperation office, Health care center, Unnan City Hospital
Correspondence: Sayuri Esumi, Regional cooperation office, Health care center, Unnan City Hospital [96-1 Daito-cho Iida,
Unnan, Shimane 699-1221, JAPAN]
Telephone: 0854-47-7500 / Fax: 0854-47-7501
E-mail: hospital-renkei@city.unnan.shimane.jp